

高知県情報産業協会主催 県内 IT 系企業の会社説明会

作成：株式会社テックス 営業部広報担当 塩見美和

2009年1月27日(火)は、高知情報システム専門学校で、高知情報産業協会主催の会社説明会を開催しました。今回の会社説明会は、高知県内にどんなIT系企業があるのかを学生に知ってもらうのが目的です。

参加企業は以下のとおりです。(スピーチ順) 敬称略

| | |
|-------------------|----------|
| (株)アイビス | 竹原総務部長 |
| (株)高知システム開発 | 大田社長 |
| (株)シティネット | 渡邊社長 |
| (株)テックス | 塩見 |
| (株)パシフィックソフトウェア開発 | 岡林管理本部部長 |
| (株)ユーキソフト | 結城社長 |

【当日のスケジュール】

1. 井上学校長の挨拶
2. 高知県情報産業協会からの挨拶(高知システム開発：大田社長)
3. 各社の会社紹介及び質疑応答(スピーチ15分+質疑応答5分ずつ)

学生さんもちょうど就職活動中ということもあり、熱心に耳を傾けている学生さんが多く、スピーチをする企業側はとても気持ちよいものでした。



井上学校長の挨拶の中で、『地産地消の考えがあるように、人材も地産地消が出来るようにしていきたい。』とお話されました。若い人材の県外流出は、高知県としては深刻な問題ですので、ぜひ今回のような会社説明会で、高知県内のIT企業を知ってもらい、県内就職を実現してもらえたらと思います。

さて、井上学校長の話が終わり、高知情報産業協会の挨拶では、高知システム開発の大田社長が、高知情報産業協会の説明の後に、『高知県内にどういう企業があるのかをぜひ知ってもらいたい』と、今回の企業説明会の主旨を話しました。



会社紹介は各社さまざま、スピーチも15分ですから、就職セミナーでは話すことが出来ないような内容まで話すことが出来ました。



アイビスさんは、会社の概要から沿革、事業内容、部門の説明、経営方針や理念、求める人材像や募集要項まで、非常に細かく説明しておられました。就職セミナーでは、なかなかここまで聞くことはないのではないかと思います。

高知システム開発さんは、自社製品の知覚障害者向けの音声でパソコン操作をナビゲートしていくシステムのデモンストレーションを行いました。学生はもちろんのこと、先生や参加企業まで、食い入るように見えていました。

学生さんからは、『開発期間はどれくらいなのか？』『開発するときに気をつけている点は何か？』『今のシステムで何代目なのか？』といった質問があがり、丁寧な説明に学生さんも満足そうでした。



シティネットさんは、会社のことはもちろん、自社製品のCMSツールのことを話ししていました。学生さんに『CMSって何か知っている人は？』と尋ねると誰も手を挙げなかったので、先生に『授業でも教えてあげてください。』とお願いする場面もありました。さらに細かい経営戦略についてや、社内間での考え方も熱くお話をされていました。

パシフィックシステム開発さんは、配布したカタログの説明し、1次産業とIT業界が今後は深く関わってくることになるというお話がありました。またパシフィックシステム開発さんが運営している人気の釣り情報サイトは、地域貢献の役割もあることという話と、開発した物流システムが使われている倉庫を取り上げられたテレビ神奈川の番組の映像も紹介していただきました。





ユーキソフトさんは、郡部に事務所を設ける会社で、そこでパッケージソフトを開発し、販売パートナーさんがソフトを販売してくれる形を取っていること。インターネットを介しての営業で、問合せもあることを教えてくれました。営業が苦手な郡部にある会社でもインターネットがあることで、商売になっていることも話してくれました。学生の皆さんに、社会人になったらどこの企業でも『問題解決能力』が求められるという話もされました。

テックスは、会社の紹介というよりも、会社の考え方の話と社員の考え方の話を中心にしました。会社でよさこいに取り組む目的について、代表が考えていることと実際にやっている社員の話など、仕事以外の部分の話をしました。

(カメラを抱えてスピーチ場所に行ってしまったため、自分の写真がありません。写真はスピーチ場所から撮影したものです。)



全員の前で質問するのは勇気がいるからでしょう。なかなか質問は出ませんでした。学生さんそれぞれに、高知のような田舎でもIT系企業はあるし、それぞれがそれぞれの考えを持って頑張っていることもわかっていただけたのではないかと思います。



今回の取り組みは、職業人としての意識付けをすることができるように思えます。さらに就職活動を意識する時期なら、心に残りやすかったのではないかと考えます。そして、これでインターンシップをすると、立体的な職業人教育ができるかもしれません。

今回の取り組みは、高知情報産業協会としても、学生さんとしても有益だったことと思います。